



平成23年11月2日

各 位

会社名 東海染工株式会社
代表者名 取締役社長 八代 芳明
コード番号 3577 東証・名証第1部
問合せ先 取締役管理部長 津坂 明男
(TEL 052-581-8141)

平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年5月11日に公表しました平成24年3月期第2四半期累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の業績予想（連結・個別）を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成24年3月期第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,800	△100	△150	△120	△3.46
今回修正予想(B)	6,930	△90	△140	△180	△5.20
増減額(B-A)	130	10	10	△60	—
増減率	1.9%	— %	— %	— %	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	6,920	△410	△437	301	8.68

(2) 平成24年3月期第2四半期累計期間 個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,800	△190	△190	△130	△3.75
今回修正予想(B)	4,850	△220	△230	△200	△5.77
増減額(B-A)	50	△30	△40	△70	—
増減率	1.0%	— %	— %	— %	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	4,813	△527	△514	343	9.90

2. 修正の理由

(連結業績) 当第2四半期累計期間は、主力の国内染色加工事業におきまして、ユニフォーム関連商品やクールビズ対応向けなどの機能加工商品の受注が好調に推移し、かつ前期に新設した磐田事業所はフルに生産に寄与いたしました。海外におきましても、インドネシア子会社の内地向け加工や対日向け縫製品を意図したテキスタイル販売が順調に推移した結果、売上高は6,930百万円と前回予想を上回り、第2四半期累計期間としては5期ぶりの増収となる見込みです。

また営業利益及び経常利益は、国内染色加工事業を取巻く環境が更に厳しくなりましたが、一方、海外におきまして、インドネシア子会社及びタイ子会社の業績が、生産効率化による原価低減効果や高付加価値の日本向け商品の加工が順調に拡大したことにより、前回予想を上回り、営業損失90百万円、経常損失140百万円となる見込みです。

四半期純利益は、国内染色加工事業におきまして綿花価格乱高下の影響により衣料用途を中心に秋冬物の生産を控えたことに加え、当社及び連結子会社の繰延税金資産の回収可能性の見直しに伴い税金費用が増加する見込みのため、前回予想を下回り、四半期純損失180百万円となる見込みです。

(個別業績) 主力の国内染色加工事業の受注が好調に推移した結果、売上高は、連結と同様に個別でも前回予想を上回り5期ぶりに増収となる見込みですが、営業利益及び経常利益は、取引先の民事再生法申請に伴う貸倒引当金計上の影響もあり前回予想を下回る見込みです。また四半期純利益についても、繰延税金資産の回収可能性の見直しに伴い税金費用が増加する見込みのため、前回予想を下回る見込みです。

以上の理由により、平成24年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想及び個別業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、平成24年3月期第2四半期決算発表(平成23年11月10日予定)にて公表する予定であります。

(ご注意) 上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な状況に基づき判断した見通しであり、今後、様々な変動要因により、実際の業績が上記数値と異なる可能性があります。

以 上